

資料 2

第 6 次埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画の整備状況報告書

- 1 医療機関名：籠原病院
- 2 所在地（開設予定地）：熊谷市美土里町三丁目 1 3 6 番地
- 3 整備する病床の機能・数
整備計画病床 12 床

医療機能*	病床機能区分	病床種別	入院基本料・特定入院料	病床数
在宅医療	急性期	一般	地域一般入院料 1	12

*回復期機能、がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、周産期医療、緩和ケア等整備する病床が担う医療機能を記載

4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 30 年 3 月
2	建築（着工）	令和 元年 5 月
3	建築（竣工）	令和 2 年 1 月
4	医療従事者の確保	令和 元年 10 月
5	使用許可（医療法）	令和 2 年 1 月
6	開設（増床）	令和 2 年 2 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

当院は籠原地区でただ一つの入院施設を持つ病院であり、籠原地区のクリニックや介護施設からの検査依頼や症状の急性増悪時の入院加療を遅滞なく請け負っていくことを進めていく。

○新たに担う役割

他急性期病院の回復期の患者を請け負い、短期にて通常生活に復帰させるため在宅診療を活用していく。

近隣クリニックなどからの急性期疾患も同様に短期にての復帰をサポートしていく。

○将来の方向性

常勤医師（循環器内科又は呼吸器内科）の雇用ができ次第、地域包括ケア病棟を7床開設することにより、近隣医療機関との協力体制を確立し近隣医療機関の地域医療を後押ししていく。

緊急時の受け入れを24時間体制とすることは近隣の診療所の新たな在宅医療参入への一助となり、地域在宅医療の発展への貢献となる。

籠原地区においての緊急時の入院受け入れ先として診療時間以外の対応が可能となれば、近隣の診療所の新たな在宅医療参入への足がかりとなり、地域在宅医療の発展に貢献出来る。

また、2次、3次病院からの回復期患者を積極的に受け入れリハビリし早期に在宅復帰、もしくは在宅診療とし、圏内の高度急性期病床の確保に寄与したい。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

現在は病床数が不足し、高齢者に多い肺炎や心不全、脳梗塞などの急患に対し、入院での加療が最善と判断される患者さんへも、満床を理由にやむを得ず外来点滴加療や看護師の訪問で対応している状態が、増床により適切な入院加療が可能となる。

【増床病棟】

病棟名	病床数	病床機能区分	平均在院日数	病床利用率
一般病棟	12床	急性期		
	一般／療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 1	
診療科 内科、外科、整形外科				
患者の受入見込み (※内訳として、病院等名称、数値(年間人数、病床数に占める割合)を具体的に記入してください。)				
【増床前】 25床 年間入院患者人数 366人 ◆他急性期病院から 13人 (3.6%) 深谷赤十字病院から 7人、熊谷総合病院から 2人、その他病院から 4人 ◆診療所から 17人 (4.6%) 三輪医院から 4人、坂本内科クリニックから 3人、その他診療所から 10人 ◆介護・福祉施設から 216人 (59.0%) ウェルネステラス深谷から 27人、介護老人保健施設はなぶさから 23人、その他施設から 166人 ◆自宅から (外来・救急・訪問診療) 120人 (32.8%) 訪問診療を行う患者数 年間 490人		【増床後】 37床 年間入院患者人数 534人 ◆他急性期病院から 26人 (4.9%) 深谷赤十字病院から 15人、熊谷総合病院から 6人、その他病院から 5人 ◆診療所から 26人 (4.9%) 三輪医院から 4人、坂本内科クリニックから 5人、その他診療所から 17人 ◆介護・福祉施設から 320人 (59.9%) ウェルネステラス深谷から 30人、介護老人保健施設はなぶさから 30人、その他施設から 260人 ◆自宅から (外来・救急・訪問診療) 162人 (30.3%) 訪問診療を行う患者数 年間 515人		
医療(介護)連携見込み				
【増床前】 ◆紹介元： 「急性期病院」深谷赤十字病院、熊谷総合病院、群馬県立がんセンター、太田記念病院 「診療所」明戸大塚医院、しぶや医院、村上クリニック 「介護・福祉施設」リ-ゼ小川町、ウェルネステラス深谷、かきの木苑、上石デ-イビスセンタ、さわやか熊谷館、ここいち深谷、さくら苑、さくら苑上柴、西村家、ひまわりの里、まんさくの里、まつの木苑、メディス深谷、リビング閑、レスパ花園、桜寿鶴ことぶき、熊谷デイサービスセンタ		【増床後】 ◆紹介元： 「急性期病院」深谷赤十字病院、熊谷総合病院、群馬県立がんセンター、太田記念病院 「診療所」明戸大塚医院、しぶや医院、村上クリニック 「介護・福祉施設」リ-ゼ小川町、ウェルネステラス深谷、かきの木苑、上石デ-イビスセンタ、さわやか熊谷館、ここいち深谷、さくら苑、さくら苑上柴、西村家、ひまわりの里、まんさくの里、まつの木苑、メディス深谷、リビング閑、レスパ花園、桜寿鶴ことぶき、熊谷デイサービスセンタ		

<p>◆紹介先：</p> <p>「急性期病院」深谷赤十字病院、熊谷総合病院、群馬県立がんセンター、太田記念病院</p> <p>「診療所」明戸大塚医院、しぶや医院、村上クリニック</p> <p>「介護・福祉施設」リゼ小川町、ウェルステラス深谷、かきの木苑、上石デイビスセンタ、さわやか熊谷館、ここいち深谷、さくら苑、さくら苑上柴、西村家、ひまわりの里、まんさくの里、まつの木苑、メディス深谷、リビング閑、レスパ花園、桜寿鶴ことぶき、熊谷デイサービスセンタ</p>	<p>◆紹介先：</p> <p>「急性期病院」深谷赤十字病院、熊谷総合病院、群馬県立がんセンター、太田記念病院</p> <p>「診療所」明戸大塚医院、しぶや医院、村上クリニック</p> <p>「介護・福祉施設」リゼ小川町、ウェルステラス深谷、かきの木苑、上石デイビスセンタ、さわやか熊谷館、ここいち深谷、さくら苑、さくら苑上柴、西村家、ひまわりの里、まんさくの里、まつの木苑、メディス深谷、リビング閑、レスパ花園、桜寿鶴ことぶき、熊谷デイサービスセンタ</p>
--	--

6 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能区分	平均在院日数	病床利用率
一般病棟	25床	急性期	18日	85%
	一般／療養	入院基本料・特定入院料		地域一般入院料1
診療科				
内科、外科、整形外科				
診療実績				
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療を通して近隣17施設（約340名）の入所者さまの健康管理を行っているため、施設入所さまの緊急入院が多い。肺炎、心不全等高齢者の急性期の治療と終末期の医療を行っている。 ・認知症増悪による拒食等の治療を行っている。 ・鼠径ヘルニア根治術を施行している。 ・大腸EMRを施行している。 				

7 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	1	20	4.1	1	0	0
看護師	26	7	4.0	0	0	0
その他	45	13	6.8	7	0	0
計	72	40	14.9	8	0	0

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p>（※確保予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新棟稼働での入職者をホームページ掲載による募集と紹介業者への依頼 ・循環器内科又は呼吸器内科の常勤医師1人と日勤・夜勤の看護補助7人

8 医療（介護）連携における課題、問題点

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか

当院では介護施設への在宅診療もおこなっており肺炎等発症時は当院にて加療し復帰させている。また当院が在宅診療を行っていない籠原地区介護施設からの患者も請け負っている。

圏内病院からは急性期治療を終えた患者の加療や在宅診療への変更など現在でも受け入れており「出口」としての役割を果たしているものとする。今後はさらに貢献していきたい。

○回復期、慢性期医療機関：市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅への移行はスムーズに行われているか 等

特養への入所は待機が多いものと思われるがその他は問題ないと考えている。ただ地域特性なのか個人宅での在宅診療は少ないものと感じている。原因はまだ自宅で可能な患者への介護施設への早期入所誘導や自宅介護でのマンパワー不足、アナウンス不足等が考えられる。